

平成20年度宅地建物取引主任者本試験 解答予想

下記の正解番号は解答予想として、また、合格予想点は問題の難易度から、いずれも当社が予想したものです。
試験結果等が確定したものではありませんので、ご注意ください。

また、本解答予想や試験内容に関するご質問は、対応いたしかねますので、予めご了承ください。

問題1	問題2	問題3	問題4	問題5	問題6	問題7	問題8	問題9	問題10
1	1	3	4	4	2	3	3	1	1
問題11	問題12	問題13	問題14	問題15	問題16	問題17	問題18	問題19	問題20
4	3	4	3	3	2	3	4	2	3
問題21	問題22	問題23	問題24	問題25	問題26	問題27	問題28	問題29	問題30
1	2	1	2	3	4	4	1	2	3
問題31	問題32	問題33	問題34	問題35	問題36	問題37	問題38	問題39	問題40
2	4	3	4	4	2	4	1	4	1
問題41	問題42	問題43	問題44	問題45	問題46	問題47	問題48	問題49	問題50
2	1	2	3	1	4	2	4	3	2

合格予想点 33点±1

< 試験概要 >

昨年度と比較すると、難易度は高くなったと思われる。
その要因として考えられることは、次のとおりである。

権利変動では、1問の中で2つ以上の知識を考えさせたり、判決文を用いるなど、
単純に知識を理解しているだけでは対応できない問題があった。

都市計画法で頻出事項と言われる開発許可からの出題がなく、
3年ぶりに諸法令から出題がなされたが、従来の許可権者を問う内容ではなかった。

宅建業法では、細かい規定からの出題や正誤の判断がとりにくい選択肢が増えた。